山口情報芸術センター［YCAM］イベント

YCAMオープンラボ2019

ナマモノのあつかいかた

2019年11月16日（土）、17日（日）
山口情報芸術センター［YCAM］ホワイエ

世界の文化施設と考える「ラボの現在と可能性」
今年はバイオラボの役割からアートセンターのあり方を考える

山口情報芸術センター［YCAM］では、多岐に渡るYCAMの活動を紹介するイベント「YCAMオープンラボ2019：ナマモノのあつかいかた」を開催します。

近年、急速に一般化が進むバイオテクノロジーは、様々な分野で応用が進み、私たちの生活にますます身近なものとなっています。一方でバイオテクノロジーを巡っては倫理などに関する議論も起こっています。そうした状況を受け、YCAMでも2015年に館内にバイオラボを設置し、芸術表現や教育への応用を模索してきました。

このイベントでは、スロベニア、ガーナ、インドネシア、日本で、バイオテクノロジーに関するオルタナティブな活動を展開する組織のメンバーや専門家を招聘し、プレゼンテーションとディスカッションをおこないます。

テクノロジーの最前線で活動する実践者との交流を生み出すこのイベントを通じて、バイオテクノロジーが社会に与える影響についてはもちろん、創造性とテクノロジーとの関わりや、公共文化施設のあり方についても考えていきます。この機会にぜひご参加ください。

「YCAMオープンラボ2018：グッドセンスなラボ」の様子
（2018年／撮影：田邊アツシ）

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

［お問い合わせ］
山口情報芸術センター［YCAM］学芸普及課
〒753-0075 山口県山口市中園町7-7
TEL：083-901-2222　FAX：083-901-2216　メールアドレス：press@ycam.jp　ウェブサイト：www.ycam.jp
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

YCAMの取り組みを知るイベント

「YCAMオープンラボ2018：グッドセンスなラボ」の様子
（2018年／撮影：田邊アツシ）

YCAMでは開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求をおこなっており、YCAMでなければ生み出せないオリジナル作品を多数制作、発表してきました。また作品制作と同時に、作品と鑑賞者をつなぐギャラリーツアーや、人々の好奇心や想像力を刺激する教育プログラムの開発／提供もおこなうほか、さらに近年は、さまざまなかたちで蓄積したメディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、地域課題や地域資源に結びつける取り組みもおこなっています。

「YCAMオープンラボ」は、そうした多岐に及ぶYCAMの活動の全体像を、幅広い層の人々に向けて紹介すべく2017年にスタートした複合型のイベントです。YCAMの活動を支える研究開発チーム「インターラボ」のメンバーや、毎年設定されるテーマに沿ったゲストによるトークイベントを軸に、ライブコンサートや展示、ワークショップといったYCAMならではの多彩なプログラムが展開されるのが特徴です。こうしたプログラムを通じて毎回、YCAMの現在、そして開館以来のミッションである文化基盤としての情報の可能性を描き出しています。

3年連続3回目の開催となる今回は、「ナマモノのあつかいかた」と題して、近年ますます一般化が進むバイオテクノロジーをキーワードに開催。YCAMのバイオテクノロジーに関する研究開発プロジェクト「YCAMバイオ・リサーチ」をホストに、国内外からバイオテクノロジーに関するオルタナティブな活動を展開する組織のメンバーや専門家を招聘し、プレゼンテーションとディスカッションをおこないます。

これまでのYCAMオープンラボ

YCAMオープンラボ2017
HELLO, YCAM!
2017年12月15日〜17日
ゲスト：伊藤亜紗、柴田剛、三宅唱、橋本裕介、林篤志、エキソニモ、細尾真孝、筧康明、古舘健、徳井直生、環ROY、久保田晃弘、馬定延ほか

YCAMオープンラボ2018
グッドセンスなラボ
2018年10月6日〜8日
ゲスト：アレクシー・アンドレ、本條陽子、菅野薫、ポール・ダンステップ、チェ・テユン、小川秀明、真鍋大度、石橋素ほか

YCAMバイオ・リサーチ

バイオテクノロジーの応用可能性を、芸術表現や教育、地域など多様な切り口で模索し、提案していくYCAMの研究開発プロジェクト。2015年からバイオテクノロジーを扱うための機材や設備を備えたバイオラボのスペースを館内に立ち上げ、研究開発を開始。

国内外からバイオラボが集結！

YCAMの館内のバイオラボの様子

今回のタイトルにある「ナマモノ」とは、文字通り「生物」を指しています。生物に関わるバイオテクノロジーは近年、食や医療、エネルギーなどの分野で応用が進み、私たちの生活にますます身近なものになってきました。一方で急速な技術革新から、倫理や安全性などに関する議論は絶えません。そうした状況を受け、YCAMでも2015年にバイオラボを設置し、芸術表現や教育への応用を模索しています。「ナマモノ」には、技術の応用と議論が現在進行形で進む状況、そしてYCAMが取り組む芸術表現の状況そのものも示唆しています。

今回のゲストは、スロベニア、ガーナ、インドネシア、日本でバイオラボを持つ組織のメンバーや、バイオテクノロジーの専門家です。スロベニアからは「カペリツァ・ギャラリー」のサンドラ・サジョヴィッチ。ガーナからは「ハイブ・バイオラボ」のハリー・アクリゴ。インドネシアからは「ライフパッチ」のヌル・アクバル・アロファトゥラ。日本からは、フリーランスの研究者としてバイオテクノロジーの民主化の研究をおこなう片野晃輔が参加。プレゼンテーションをおこないます。また、同時開催するcontact GonzoとYCAMバイオ・リサーチによる展覧会「wow, see you in the next life.／過去と未来、不確かな情報についての考察」のツアーを開催するほか、最終日には上記のゲストによるディスカッションも開催します。

様々な領域の問題が交錯するバイオテクノロジーの実践者との交流を通じて、バイオラボの役割や、テクノロジーと創造性の関係性の現在、そして公共施設のさらなる可能性を描き出します。

サンドラ・サジョヴィッチ

カペリツァ・ギャラリー キュレーター。スロベニアの文化施設ケルニスコヴァ・インスティテュートが運営するバイオラボ「BioTehna」とハッカースペース「Rampa」とともに、作品制作や展示、新しい学びの方法のためのプラットフォームをつくっている。

ハリー・アクリゴ

ハイブ・バイオラボ共同設立者。ハイブ・バイオラボは、ガーナ国内初のDIYバイオラボとして、インキュベーションセンターであるクマシハイブ内に2018年にオープン。研究や教育、起業支援を通して地域が抱える問題に取り組む。

ヌル・アクバル・アロファトゥラ

ライフパッチのメンバー。農業バイオテクノロジー分野の研究者で、現在は東京農工大学大学院生物生産科学専攻に在籍。ライフパッチはインドネシアを拠点にアート、科学、テクノロジーの領域で横断的な活動を行うアートコレクティブ。2012年の結成以来、地域社会におけるテクノロジー、天然資源、人的資源の調査・研究・開発に取り組んでいる。

片野晃輔

ワイルド・サイエンティスト。フリーランスの研究者として活動し、MITメディアラボのSynthetic Neurobiologyで組織内ゲノムシーケンス手法開発に携わり、現在はCommunity Biotechnologyで低コストかつ世界中どこでも自作／使用可能な実験機器、手法の開発や生物学研究の民主化の研究も行っている。

contact Gonzo

2006年に垣尾優と塚原悠也により結成。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や、映像、写真作品の制作、マガジンの編集などを行い、国内外の企画展や、ダンスフェスティバルなどに幅広く参加。現メンバーは塚原悠也、三ヶ尻敬悟、松見拓也、NAZEの4名。

開催概要

YCAMオープンラボ2019
ナマモノのあつかいかた

2019年11月16日（土）、17日（日）
山口情報芸術センター［YCAM］ホワイエ
参加無料（要申込）

タイムテーブル

11月16日（土）
10:30-10:45　あいさつ
10:45-11:45　トーク1：YCAMバイオ・リサーチ
13:00-14:30　トーク2：サンドラ・サジョヴィッチ
14:45-16:15　トーク3：ヌル・アクバル・アロファトゥラ
16:30-17:30　contact Gonzoによる展覧会ツアー（スタジオA）
11月17日（日）
10:05-10:15　あいさつ
10:15-10:45　トーク4：片野晃輔
11:00-12:30　トーク5：ハリー・アクリゴ
14:00-15:00　contact Gonzoによる展覧会ツアー（スタジオA）
15:30-17:30　ミックスセッション

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会
技術協力：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター［YCAM］

同時期開催プログラム

contact Gonzo＋YCAMバイオ・リサーチ
wow, see you in the next life.／過去と未来、不確かな情報についての考察
アーティスト集団contact GonzoとYCAMバイオ・リサーチによる新作インスタレーションを発表する展覧会です。
2019年10月12日（土）～2020年1月19日（日）　10:00～19:00
会場：スタジオA　入場無料

細井美裕＋石若駿＋YCAM新作コンサートピース
Sound Mine（サウンド・マイン）
ボイスアーティストの細井美裕と、世界的に注目を集める若手打楽器奏者・石若駿、YCAMのコラボレーションにより制作する新作コンサートピースを発表する公演です。
2019年11月15日（金）、16日（土）各日19:00集合
集合場所：駐車場側入口　要チケット購入

イベントの申込方法

下記ウェブサイト内に用意された申込フォームに必要事項をご記入ください。
ウェブサイト：
www.ycam.jp